

S [下関] Shimonoseki

旧秋田商会ビル

下関南部町郵便局庁舎

旧下関英国領事館



六連島灯台



関門

“ノスタルジック”



海峡



部埼灯台

～時の停車場、近代化の記憶～



北九州市旧大阪商船



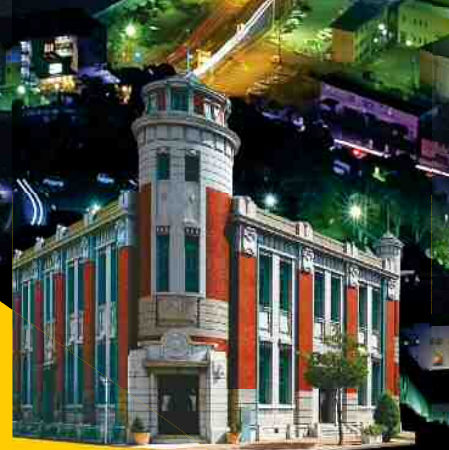
旧サッポロビール九州工場



旧門司税関

K [北九州] Kitakyushu

旧古河鋳業若松ビル



関門“ノスタルジック”海峡

検索

□日本遺産ストーリーは下関市・北九州市合わせて42の文化財で構成されています。すべての構成文化財は裏面をご覧ください。

<http://www.japanheritage-kannmon.jp/>



日本遺産 関門“ノスタルジック”海峡

～時の停車場、近代化の記憶～

日本遺産について

我が国の文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図るために、地域の歴史的経緯や、伝承、風習などを踏まえたストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として認定するものです。有形・無形の文化財をパッケージ化し、活用を図る中で、情報発信や人材育成・伝承、環境整備などの取組を効果的に進めていくことを目的としています。



関門“ノスタルジック”海峡とは

古来より陸上・海上交通の要衝であった関門地域は、幕末の下関戦争を契機とした下関・門司両港の開港以降、海峡の出入口には双子の洋式灯台が設置され、沿岸部には重厚な近代建築が続々と建設されました。狭隘な海峡を外国船が行き交う景観の中、日本が近代国家建設へ向け躍動した時代のレトロな建造物群が、時が停止したかのように現在も残されています。渡船や海底トンネルを使って兩岸を巡れば、まるで映画のワンシーンに紛れ込んだような、ノスタルジックな街並みに出会うことができます。



42の文化財、42の物語

関門海峡の明治から昭和にかけての重厚な近代建築群は、紛れもなく日本近代国家建設のシンボル。さあ「海峡七路」を使ってノスタルジックな街並みの物語に触れてみませんか！

主な構成文化財へのアクセス情報

- 小倉駅～門司港駅＝JR約15分、車約25分
- 下関駅～唐戸近辺＝バス約7分、車約10分
- 下関駅～小倉駅＝JR約17分
- 門司港駅～唐戸近辺＝関門連絡船約12分



お問合せ

関門海峡日本遺産協議会事務局

■北九州市民スポーツ局文化財文化企画課 TEL(093)582-2391
■下関市教育委員会教育部文化財保護課 TEL(083)254-4697